

みずほCustomer Desk Report 2024/02/28号 (As of 2024/02/27)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.64
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.57	1.0851	163.34	1.2684	0.6539
SYD-NY High	150.68	1.0866	163.39	1.2697	0.6558
SYD-NY Low	150.08	1.0833	162.93	1.2661	0.6525
NY 5:00 PM	150.49	1.0846	163.22	1.2686	0.6543
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,972.41	▲ 96.82	日本2年債	0.1700%	0.0100%
NASDAQ	16,035.30	59.05	日本10年債	0.6900%	0.0100%
S&P	5,078.18	8.65	米国2年債	4.6923%	▲0.0367%
日経平均	39,239.52	5.81	米国5年債	4.3105%	0.0158%
TOPIX	2,678.46	4.84	米国10年債	4.3022%	0.0217%
シカゴ日経先物	39,295.00	▲ 55.00	独10年債	2.4550%	0.0245%
ロンドンFT	7,683.02	▲ 1.28	英10年債	4.1945%	0.0360%
DAX	17,556.49	133.26	豪10年債	4.1490%	0.0200%
ハンセン指数	16,790.80	156.06	USDJPY 1M Vol	7.53%	0.20%
上海総合	3,015.48	38.46	USDJPY 3M Vol	7.70%	▲0.04%
NY金	2,044.10	5.20	USDJPY 6M Vol	8.08%	▲0.02%
WTI	78.87	1.29	USDJPY 1M 25RR	▲1.15%	Yen Call Over
CRB指数	276.49	2.86	EURJPY 3M Vol	7.34%	0.09%
ドルインデックス	103.83	0.00	EURJPY 6M Vol	7.85%	0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	1月 2.2%/2.0%/3.5%	1.9%/1.9%/3.3%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -6.1%	-5.0%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 -0.3%	0.2%
2月28日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 106.7	115.0
	00:00	米 リッチモンド連銀製造業景況指数	2月 -5.0	-9.0

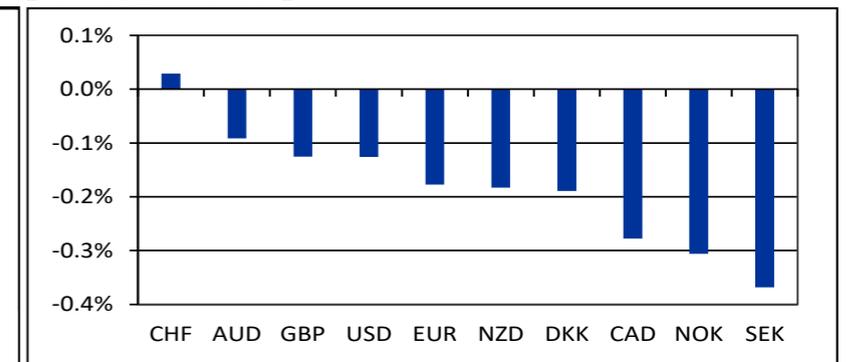
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	22:30	米 GDP(年率/前期比)・改定値	4Q S 3.3%	3.3%
	22:30	米 個人消費・改定値	4Q S 2.7%	2.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.70-151.50	1.0800-1.0900	162.50-164.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は150円台で横ばい圏での推移となった。東京時間朝方に公表された本邦CPIが市場予想を上振れ小幅に円高が進行。その後は米国経済指標の結果がまちまちとなったこともあり方向感はず。本日のドル円は底堅い展開を予想。本日は目立った経済指標の公表が予定されていないことや、明日に米1月PCEの公表を控え方向感はずらう。FRB高官の発言がいくつか予定されるが、3月FOMCでの利下げ開始への期待がほぼ消滅する中、強く材料視される可能性は低いとみる。今月は株式中心に資産価格の変動が大きかっただけに、月末リバランスフローをうけた相場の乱高下には注意を払いたいが、上下両方向にポジションを傾ける材料ない中、引き続き横ばい圏での推移が継続しよう。

東京	東京時間のドル円は150.57レベルでオープン。朝方に発表された本邦1月CPIが予想を上回ったことを受け、日銀政策修正の観測が強まり、ドル円は上値の重い推移。一方で決定打となる材料に欠ける中、下値も堅く、150円台半ばを中心とした値動きが続き、150.49レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.49レベルでオープン。ドル円はアジア時間の流れを引き継ぎ上値の重い値動き。150.12まで売られ、150.23レベルでNYに渡った。本日はハンガリー中銀が1.00%の利下げを決定し、フォリントは弱含んだ。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台後半でスタート。本邦1月CPIが予想を上回ったことや、米金利が低下する動きが相まって、ドル円は軟調な展開となり、150.23レベルでNYオープン。午前中は複数の米経済指標の結果が発表される。米1月耐久財受注ヘッドラインや米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を下回ると、一時150.08まで下落するも、海外時間に低下していた米金利が上昇する展開が支えとなり、150.50付近までじりじりと戻す。午後に発表された米7年債の堅調な入札結果を受け、一時150.30近辺まで反落するも、その後再び買いが優勢となり、150.58まで値を上げる。その後は買い一巡となり、150.49レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。1.0850付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0857レベルでNYオープン。午前中は米金利が戻す展開が重しとなり、1.0833まで下落。しかし売りは長く続かず、1.0846レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・鈴木